



第11回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 報告書



認定NPO法人
金融知力普及協会
Association for the Promotion of Financial Literacy

<http://www.apfl.or.jp>

プラチナスponsor



ゴールドスponsor



シルバースponsor



ブロンズスponsor



オフィシャルエアライン



認定NPO法人
金融知力普及協会
Association for the Promotion of Financial Literacy

主催：認定NPO法人金融知力普及協会
エコノミクス甲子園実行委員会



第11回エコノミクス甲子園大会を終えて



エコノミクス甲子園 実行委員長
金融知力普及協会 理事長
金子 昌資

2006年度より実施しております 全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園大会 もこのたび第11回大会を無事終えることができました。これまでこの大会を作り上げてきた、延べ1万人を超える参加者の皆様、地方大会を主催した金融機関の皆様、さまざまなご支援をいただいた協賛・協力企業の皆様、後援をいただいた内閣府、文部科学省、金融庁の皆様、そして様々な形でこの大会に関わったすべての皆様に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

第一回大会は全国3か所での地方大会、25校99名の参加者から始まったこの大会も、ネットを含め46の地方大会、447校2,340名の参加者を得るところまで成長しました。現在の教育課程では金融経済の知識についてなかなか学ぶ機会がありません。しかしながら、我々は、よりよい人生を築くためには必須の知識であると考えております。これを楽しみながら身に着ける機会を提供することの価値を多くの方に認めていただいております。現状のように成功できていると感じております。

金融経済の知識をつけるということは、投資で濡れ手に粟のもうけを狙うようなものではありません。豊かな人生を送るために、お金という道具の使い方を学ぶことです。このような考え方は最近少しずつ理解を得られてきたと感じておりますが、まだまだ多くの方に伝えていかねばなりません。そのためにもこれまで以上に多くの高校生がこの大会に参加し、金融知力を身に着け、その後の人生に活かし、そして周りの方に伝播していただければと願っております。

この第11回大会より、金子・森育英奨学基金を立ち上げました。全国大会出場者の中から、経済的にゆとりある大学進学が困難な若者を対象に、返済不要の200万円の奨学金を授与するものです。前身の第10回記念奨学金を受賞した3名のうち、1名は2017年4月より大学への進学を開始しております。引き続き有為の若者を支援してまいります。

10年、20年先も、数多くの若者に金融知力を身に着けていただくため、このエコノミクス甲子園を引き続き成功させるよう、スタッフ一同努力してまいります。ぜひ、皆様の温かいご指導とご支援を今後とも末永く、よろしくお願いいたします。



- ご挨拶 2
- エコノミクス甲子園はこんな大会です! 3
- 概要 5
- 各地方大会+参加高校一覧 6
- 全国大会 31
- NY研修旅行の様子と感想 37
- 全国大会出場者感想 43
- 事前学習教材 76
- 参加者アンケート 77
- メディア掲載実績 79
- 協賛社紹介 80
- Special Thanks 81
- リーダー挨拶 83
- エコノミクス甲子園の歩み 84
- 歴代全体写真 86





1

ポスターや学校の先生に教えられて 出場を決意!

- ・ネットや携帯電話から応募
- ・参加は無料!



2

金融知力普及協会から送られてくる 事前学習教材で経済を勉強

- ・今日から役に立つ経済の読み方と投資の基礎 …… 寄贈:シティ
- ・ビギナーズのためのファイナンス入門 …… 寄贈:金融広報中央委員会
- ・これであなたもひとり立ち …… 寄贈:金融広報中央委員会
- ・大学生のための人生とお金の知恵 …… 寄贈:金融広報中央委員会
- ・ライフステージで学ぶ銀行 …… 寄贈:全国銀行協会
- ・ローン&クレジットのABC …… 寄贈:全国銀行協会
- ・そんぼのホント(フレッシュアズガイド) …… 寄贈:日本損害保険協会
- ・株式会社制度と証券市場のしくみ …… 寄贈:日本証券業協会
- ・ほけんのキホン …… 寄贈:生命保険文化センター
- ・初めてのJリート …… 寄贈:不動産証券化協会
- ・もっと知りたい税のこと …… 寄贈:財務省
- ・基礎から学べる金融ガイド …… 寄贈:金融庁
- ・少額短期保険で描く保険の未来 …… 寄贈:日本少額短期保険協会



3

地方大会に参加

- ・地方大会は各地の地方銀行など金融機関が地域貢献として開催
- ・生活していく上で是非知っておいて欲しい経済の基礎知識や地元経済などについての問題
- ・筆記問題(50問)と早押しクイズ、そして決勝ラウンドで競う
- ・地方大会で優勝したチームは全国大会に出場



日本全国の高校生達に
金融経済を学ぶ機会を提供!
将来の日本をリードする人材の育成!



5

優勝チームはニューヨーク研修旅行にご招待

- ・現地で活躍する様々な方々へのインタビューや経済に関する様々な場所を見学



4

全国大会に参加

- ・経済用語をわかりやすく説明するスピーチクイズや他チームと協力したプレゼンクイズなど、より深い知識や理解が求められる形式の様々なクイズに挑む





名称 第11回 全国高校生金融経済クイズ選手権大会 エコノミクス甲子園
趣旨 社会にはばたく寸前の高校生が、世の中の金融経済の仕組みを理解しライフデザインやお金とのかかわり方を考える力＝「金融知力」を楽しく身につける為の教育イベントとして開催する。
期日 ・募集開始 2016年8月15日
 ・地方大会 2016年11月6日～12月18日 全国47か所(インターネット大会含む)
 ・全国大会 2017年2月3日～5日
主催 ・地方大会主催 各地の金融機関有志
 ・全国大会主催 認定NPO法人 金融知力普及協会
後援 内閣府、文部科学省、金融庁

プラチナ
スポンサー



ゴールド
スポンサー



シルバ
スポンサー



ブロンズ
スポンサー



オフィシャル
エアライン



協力



三井住友アセットマネジメント



金融広報中央委員会



一般社団法人 全国銀行協会



日本証券業協会 Japan Securities Dealers Association



生命保険文化センター



一般社団法人 日本損害保険協会

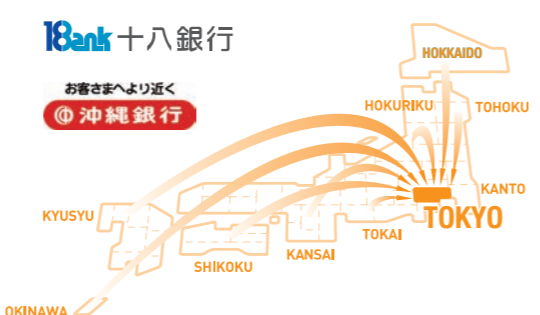
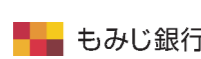
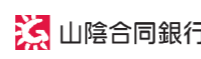
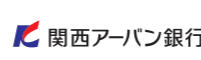
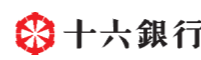
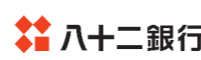
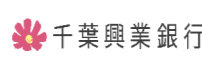
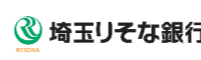


一般社団法人 日本少額短期保険協会



ドイチエ・アセット・マネジメント株式会社

地方大会主催



北海道 石狩・空知・後志・日高・胆振地区予選 11月13日(日)開催

主催 札幌信用金庫・空知信用金庫・札幌中央信用組合・北央信用組合 **優勝チーム**
参加校一覧 藤女子高等学校、札幌第一高等学校、札幌創成高等学校、北海道浦河高等学校、北海道札幌東商業高等学校、(北海道札幌南高等学校) 北海道札幌啓北商業高等学校、北海道札幌南高等学校、北海道千歳高等学校、北嶺高等学校 [チキンの波]
申し込みチーム数 14チーム(9校)
運営スタッフ感想 今年の地区予選大会は、空知信用金庫が新たに加わり4金融機関での主催となりました。参加した生徒たちは、はじめは少し緊張気味でしたが、決勝ラウンドの「株価変動クイズ」では、各チームが株購入のタイミングをじっくりと考え、駆け引きもあり、会場全体で一緒に楽しむことができ、大いに盛り上がりました。今後も、たくさん的高校生が、クイズを通して楽しみながら金融知力の大切さを学んでもらえるよう取り組んでいきたいです。



北海道 上川・留萌・宗谷地区予選 11月13日(日)開催

主催 旭川信用金庫・留萌信用金庫・北星信用金庫 **優勝チーム**
参加校一覧 旭川実業高等学校、旭川大学高等学校、北海道旭川東高等学校、北海道旭川商業高等学校、北海道士別翔雲高等学校、北海道名寄高等学校、北海道名寄産業高等学校、北海道下川商業高等学校 (北海道旭川東高等学校) [H2SO4]
申し込みチーム数 16チーム(8校)
運営スタッフ感想 高校生の熱気、知力、一生懸命さに元気をいただきました。参加者の皆さんに楽しんでもらったので良かったです。時間内にスムーズな進行ができるようなスケジュール設定は良かったと思います。株価変動クイズは、理解が難しかったように思います。予選の筆記の点数のウェイトが重い印象を受けました。



北海道 オホーツク地区予選 11月6日(日)開催

主催 北見信用金庫・網走信用金庫・遠軽信用金庫 **優勝チーム**
参加校一覧 北見藤女子高等学校、北海道雄武高等学校、北海道遠軽高等学校、北海道網走桂陽高等学校、北海道網走南ヶ丘高等学校、北海道紋別高等学校、北海道滝上高等学校、北海道湧別高等学校、北海道北見緑陵高等学校、北海道北見商業高等学校、北海道北見北斗高等学校 (北海道紋別高等学校) [紋太くんの友達]
申し込みチーム数 22チーム(11校)
運営スタッフ感想 この度は、オホーツク地区予選として初参加させていただきました。これからの金融業界を背負っていただける高校生にいい機会であったとの印象がありました。現場の高校教頭より、学習範囲が広すぎるのと難問(1年生には)が多いのと、日常学習の妨げになっているのかとの陳情はありました。(個人的意見)生徒達に関しては、楽しく参加しており、いい学習機会であったとの印象は強いようです。全道大会に、上位4チームが参加できるという楽しみも高校生にはあり、次年度以降は今後の担当幹事金庫に今回の開催資料を引き渡し、次年度もたくさん参加者を募って開催したいと考えております。この度の開催に色々と指南していただきました北海道銀行の方々、金融知力普及協会の方には大変お世話になりましたことを、書面にて御礼申し上げます。今後は、益々の発展、そして何万人の参加の甲子園に発展することを祈念申し上げ、担当責任者としての感想を述べさせていただきます。



北海道 渡島・檜山地区予選 11月19日(土)開催

主催 函館信用金庫・渡島信用金庫・江差信用金庫・函館商工信用組合 **優勝チーム**
参加校一覧 遺愛女子高等学校、北海道江差高等学校、北海道函館工業高等学校、北海道函館商業高等学校、北海道七飯高等学校、函館大妻高等学校 (北海道函館商業高等学校) [工エエー]
申し込みチーム数 13チーム(6校)
運営スタッフ感想 渡島・檜山地区予選大会は、今回で3回目を迎えました。地元金融機関の合同主催ということもあり、各金融機関のスタッフ一同、力を合わせ一つの大会を作り上げていくことが出来ました。高校生の方々にとっては難しい問題も多くあったと思いますが、絶妙なMCの掛け合いトークが高校生の皆さんに親近感を抱いて、金融知識を楽しく学んでいただけたのではないかと思います。この大会をきっかけに、少しでも「金融知力」への関心を持っていただけたらと思います。会の運営及び当日の司会進行とともに、スムーズに行うことが出来たと感じています。全体として当初のタイムスケジュールより1時間ほど繰り上げて終了しましたが、1つの要因としては決勝問題がややむずがかったため、全チーム不正解または未回答のチームが多く、ゲームの進行が早まったことが上げられます。大会自体はとても盛り上がり、参加した生徒にも喜んでいました。



北海道 十勝地区予選 11月6日(日)開催

主催 帯広信用金庫・十勝信用組合 **優勝チーム**
参加校一覧 帯広北高等学校、北海道音更高等学校、北海道帯広南商業高等学校、北海道帯広三条高等学校 (北海道帯広南商業高等学校) [@いのおかび02]
申し込みチーム数 11チーム(4校)
運営スタッフ感想 3回目の開催となった十勝地区予選大会では、おそろいのプロ野球チームのユニフォームを着て参加するチームや、予選第2ラウンドの早押しクイズで衣装チェンジを行い、部活動のユニフォームを着て登場するチームがあるなど、参加チームが大会に真剣に取り組み、かつ大会を楽しもうという姿に会場も大いに盛り上がりました。決勝ラウンドの株価変動クイズでは、株購入のタイミングをめぐって、保有資金や株価、残りの問題数を考えた駆け引きが行われ、北海道大会進出を目指して熱戦が繰り広げられました。地区予選大会を終えたチームからは、「来年も参加したい」などの意気込みも聞かれ、金融経済について学ぶ良い機会となったと思います。



北海道 釧路・根室地区予選 11月6日(日)開催

主催 釧路信用金庫・大地みらい信用金庫 **優勝チーム**
参加校一覧 北海道阿寒高等学校、北海道釧路湖陵高等学校、北海道釧路江南高等学校、北海道釧路明輝高等学校、北海道釧路商業高等学校、北海道釧路北陽高等学校、北海道根室高等学校 (北海道釧路北陽高等学校) [嵐ファイターズ]
申し込みチーム数 20チーム(7校)
運営スタッフ感想 今年で3回目となった釧路・根室地区予選大会は、過去最多となる7校、20チームの参加により開催いたしました。本予選大会恒例の「仮装」MCによる司会進行のもと、予選ラウンドの早押しクイズ、決勝ラウンドの株価変動クイズともに大いに盛り上がり、笑いの絶えない楽しい大会となりました。「難しい問題がたくさんあったが、深い内容も楽しく学ぶことが出来た」など「良かった」「為になった」といった感想をたくさんいただき、参加した高校生にとっては金融や経済を学ぶ良いきっかけとなる事業になったと思います。





北海道大会

12月11日(日)開催

主催 **北海道銀行**

参加校一覧 北海道釧路北陽高等学校、北海道釧路明輝高等学校、北海道紋別高等学校、北海道網走南ヶ丘高等学校、北海道湧別高等学校、北海道帯広南商業高等学校、北海道帯広三条高等学校、北海道旭川東高等学校、北海道函館商業高等学校、北海道江差高等学校、北海道札幌南高等学校

申し込みチーム数 19チーム(11校)

運営スタッフ感想 今年より念願であったオホーツク地区予選大会も開催され、道内6地区の予選を勝ち抜いた19チームが北海道大会で競い合いました。地区予選代表チームを応援しようと、北海道各地域から信用金庫・信用組合の方々等が会場に駆けつけ、大いに盛り上がりました。
高校生たちの一喜一憂しながら真剣に取り組む姿勢を見ることができ、金融について楽しく学べる場であると改めて実感しました。



優勝チーム
北海道札幌南高等学校
「JSO」



青森大会

12月11日(日)開催

主催 **みちのく銀行**

参加校一覧 青森県立青森高等学校、青森県立青森西高等学校、青森県立青森商業高等学校、青森県立木造高等学校、青森県立弘前高等学校、青森県立八戸商業高等学校、青森山田高等学校、東奥学園高等学校

申し込みチーム数 20チーム(8校)

運営スタッフ感想 青森大会は今回で4回目。毎回見舞われる吹雪の中で参加したチームは20チームでした。生徒たちはみんなレベルが高く接戦で、特に決勝ラウンドは最後までどうなるか分からない展開に、運営スタッフもドキドキするほどでした。
優勝を勝ち取ったのは弘前高校のチーム。3年連続で優勝を続けていた他校のチームを破り、念願の初優勝を飾りました。
今後も高校生の皆さんに楽しく金融・経済の知識を学んでいただけるよう、サポートしていきたいと思ひます。



優勝チーム
青森県立弘前高等学校
「青蛾」



岩手大会

12月11日(日)開催

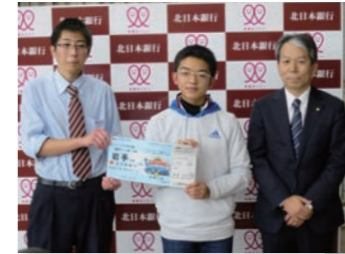
主催 **認定NPO法人 金融知力普及協会**

協力 **北日本銀行**

参加校一覧 盛岡中央高等学校、岩手県立盛岡第三高等学校、岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立盛岡商業高等学校

申し込みチーム数 10チーム(4校)

運営スタッフ感想 5年ぶりに開催された岩手大会では、9チーム18人の高校生の皆さんにご参加いただき、氷点下の冷え込みを吹き飛ばす熱い戦いが繰り広げられました。序盤こそ緊張している様子もありましたが、次第に大会の雰囲気にも慣れ、果敢に早押しボタンに挑む姿も見られました。決勝も拮抗した展開となり、最後の最後まで勝負の行方が分からないという手に汗握る戦いでした。「楽しかった」という感想も多く聞かれたので、来年以降も是非多くの皆さんに参加していただければと思います。



優勝チーム
盛岡中央高等学校
「チームプラグマ」



宮城大会

12月4日(日)開催

主催 **77 七十七銀行**

参加校一覧 聖ウルスラ学院英智高等学校、東北学院高等学校、常盤木学園高等学校、宮城県宮城第一高等学校、宮城県仙台第二高等学校、宮城県仙台第一高等学校、宮城県仙台二華高等学校

申し込みチーム数 19チーム(7校)

運営スタッフ感想 早押しクイズや決勝ラウンドでは比較的正確率が高く、活発な大会となりました。



優勝チーム
宮城県仙台第一高等学校
「孝標の見えざる女」





秋田大会

12月17日(土)開催

主催 **秋田銀行**

参加校一覧 秋田県立角館高等学校、秋田県立秋田高等学校、秋田県立秋田南高等学校、秋田県立秋田中央高等学校、秋田県立湯沢高等学校、秋田市立秋田商業高等学校

申し込みチーム数 25チーム(6校)

運営スタッフ感想 今年も多くのチームに出場していただき、大会が盛り上がりました。

決勝では予選を2位で通過した秋田高校チーム「後後後世」が9問目で唯一正解し、見事優勝しました。「後後後世」には昨年別のペアで全国大会を経験した伊藤さんがおり、大会2連覇となりました。

また、優勝を惜しくも逃した皆さんからは「来年も参加し、リベンジします!」と熱い言葉をいただくことができました。

最後に、参加していただいた高校生の皆さん、大会にご協力いただいた関係各所の皆様にお礼申し上げます。



優勝チーム
秋田県立秋田高等学校
「後後後世」



山形大会

12月11日(日)開催

主催 **山形銀行**

参加校一覧 山形県立鶴岡南高等学校、山形県立米沢興譲館高等学校、山形県立山形東高等学校、山形県立山形南高等学校、山形県立上山明新館高等学校

申し込みチーム数 35チーム(5校)

運営スタッフ感想 本年は当行の創立120周年記念であるため、当行がネーミングライツを取得している「やまぎんホール(山形県民会館)」において山形大会を開催し、29チーム58名の高校生が参加されました。

決勝ラウンドでは、5問目で優勝チームのみが正解し、それまで戦略的に貯めておいた資金をもって多くの株を購入し、リードを広げてそのままゴールしました。

今後も高校生が金融経済について楽しく学べる機会となるように、取り組んでいきたいと思っております。



優勝チーム
山形県立鶴岡南高等学校
「ファランクス」



福島大会

11月20日(日)開催

主催 **東邦銀行**

参加校一覧 福島県立郡山商業高等学校、福島県立若松商業高等学校、福島県立福島高等学校、福島県立福島商業高等学校、福島県立福島南高等学校、福島県立相馬高等学校、福島東稜高等学校、福島工業高等専門学校

申し込みチーム数 18チーム(8校)

運営スタッフ感想 広い福島県ですが、各地から17チームの高校たちに参加していただきました。地元テレビ局の女子アナ(2年目)が早押しクイズから司会として大会を盛り上げてくださり、会場はさながらテレビのクイズ番組のような素晴らしい雰囲気に包まれました。

優勝は昨年準優勝のチームでした。前日も8時間勉強したとことで予選は断トツの1位通過。決勝ラウンドでは、昨年3位のチームを追う展開でしたが、終盤戦で難しい問題に正解し悲願の初優勝に輝きました。



優勝チーム
福島県立福島高等学校
「ことり坂46」



茨城大会

12月11日(日)開催

主催 **筑波銀行**

参加校一覧 茨城高等学校、茨城県立竹園高等学校、茨城県立水戸第一高等学校、茨城県立水戸商業高等学校、茨城県立土浦第三高等学校、茨城県立土浦第一高等学校、茨城県立並木中等教育学校、明秀学園日立高等学校、常総学院高等学校

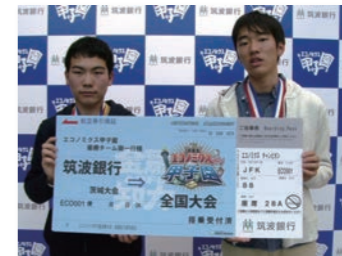
申し込みチーム数 31チーム(9校)

運営スタッフ感想 今年の茨城大会は、平成28年12月11日(日)に30チーム、60名の参加により、盛大に開催されました。

決勝ラウンドでは、今年も白熱した戦いが繰り広げられ、茨城県立並木中等教育学校の「オレア」が優勝し、全国大会の出場権を獲得しました。

今後も、大会を通じた皆さんの高校生に楽しく金融知力の大切さを学ぶことができるよう取り組んでいきたいと考えています。

地方大会も無事終了することができ、関係者の皆様にご挨拶いたします。



優勝チーム
茨城県立並木中等教育学校
「オレア」





栃木大会

12月18日(日)開催

主催 **足利銀行**

参加校一覧 栃木県立真岡高等学校、栃木県立真岡北陵高等学校、栃木県立栃木高等学校、栃木県立栃木商業高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮清陵高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立大田原高等学校、栃木県立佐野高等学校、宇都宮文星女子高等学校

申し込みチーム数 22チーム(10校)

運営スタッフ感想 4回目となる栃木大会は、過去最高の10校22チームの参加となりました。決勝ラウンド進出チーム6位が同点となり近似値問題で判定するなど、参加チームの力が拮抗する大会となりました。決勝ラウンドも優勝チームは全問正解、準優勝チームは9問正解で、アンケートには「決勝問題をもっと難しくしてほしい」との回答もあり、年々レベルが上がってきているように思います。今後も地元高校生の皆さんが、金融経済について楽しく学べる機会となるよう、栃木大会を盛り上げていきたいと思ひます。



優勝チーム
栃木県立宇都宮高等学校
「ベティ=クラーク」



群馬大会

12月11日(日)開催

主催 **群馬銀行**

参加校一覧 高崎市立高崎経済大学附属高等学校、群馬県立高崎商業高等学校、群馬県立沼田高等学校、群馬県立太田高等学校、群馬県立前橋高等学校、群馬県立前橋女子高等学校、群馬県立前橋商業高等学校、群馬県立中央中等教育学校、前橋育英高等学校、伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校、ぐんま国際アカデミー高等部

申し込みチーム数 19チーム(11校)

運営スタッフ感想 今年の群馬大会は、11校から18チームが参加し、賑やかに開催できました。特に今年は、1年生チームが多く、皆さんチャレンジ精神に溢れ、早押しクイズでも積極的にボタンを押して盛り上がりました。決勝ラウンドでは、2年生2チーム1年生4チームの対戦となりました。実力の伯仲する接戦となるなか、各チームとも株の購入には慎重な姿勢で臨み、8問目を終わった時点では、各チームが大量の資金を抱え、次の問題の株価次第ではどのチームにも優勝の可能性がある接戦となりました。最後は、2年連続出場の「TARUTARU」が経験を活かして落ち着いて解答し、18株を獲得して優勝を決めました。来年は今年出場した1年生の皆さんに、またチャレンジしてもらえればと思います。



優勝チーム
ぐんま国際アカデミー高等部
「TARUTARU」



埼玉大会

11月27日(日)開催

主催 **埼玉りそな銀行**

参加校一覧 西武学園文理高等学校、栄東高等学校、昌平高等学校、早稲田大学本庄高等学院、川越東高等学校、埼玉県立浦和高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校

申し込みチーム数 24チーム(7校)

運営スタッフ感想 今回の埼玉大会には、23チーム45名の高校生の皆さんにご参加いただきました。早押しクイズでは、高校生の皆さんは事前準備がしっかりと行われていたこともあり、問読み中に解答してポイントを積み重ねるチームが複数いたことから、白熱した展開となりました。また決勝ラウンドの株価変動クイズでは、問題の解答だけでなく、いかにタイミングよく株を購入するか考えを巡らせており、各チーム同士で高度な駆け引きが行われていました。結果として埼玉県立浦和高等学校の「新しい古典文法」チームが、激戦を制し優勝しました。今後も、多くの高校生の皆さんにご参加いただき、金融経済の大切さについて楽しみながら学んでいただけるよう取り組んで参りたいと思ひます。



優勝チーム
埼玉県立浦和高等学校
「新しい古典文法」



千葉大会

12月11日(日)開催

主催 **千葉銀行** **千葉興業銀行**

参加校一覧 芝浦工業大学柏高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、東葉高等学校、成田高等学校、千葉県立東葛飾高等学校、千葉県立千葉高等学校

申し込みチーム数 12チーム(6校)

運営スタッフ感想 第8回千葉大会は、大盛況のうちに終了しました。昨年に引き続き参加した方や、初めて出場された方など、県内各地の高校から、11チームの参加をいただきました。「株価変動クイズ」では、予選ラウンド第6位のチーム「県立東葛中附属高」が強豪校をおさえ、見事に大逆転。スタッフもハラハラドキドキの連続でした。開催にあたりご尽力いただいた関係者のみなさま、参加してくれた高校生みなさん、ありがとうございました。今後も千葉銀行と千葉興業銀行の2行で、千葉大会を盛り上げていきたいと思ひます。



優勝チーム
千葉県立東葛飾高等学校
「県立東葛中附属高」





東京大会

12月11日(日)開催

主催 **りそな銀行**

参加校一覧 麻布高等学校、桐朋女子高等学校、東京都立竹早高等学校、東京都立立川高等学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立国際高等学校、本郷高等学校、朋優学院高等学校、早稲田高等学校、日本学園高等学校、巣鴨高等学校、学習院高等科、八王子学園八王子高等学校、お茶の水女子大学附属高等学校

申し込みチーム数 28チーム(14校)

運営スタッフ感想 準備から当日まで楽しく携わらせていただきました。当日は24チーム46人の参加となりました。受付の時にテキストを開いて勉強する高校生たちからは真剣さが伝わってきてこちらの身も引き締まる思いでした。今回は第2ラウンドまでの得点1位がなんと2チーム(近似値まで一緒でした)。決勝の後半になると一発逆転も可能なルールに、会場も大いに盛り上がりしました。結局10問中8問を正解し、貯めるべき時には貯め、単独正解の際には大量購入し戦略的に戦ったお茶の水女子大学附属高等学校の「チームT」のお二人が優勝。「解けなかった問題もあるので全国大会までにもっと勉強したい」と意気込んだ二人には全国大会でもぜひ活躍してほしいと思います。



優勝チーム
お茶の水女子大学附属高等学校
「チームT」



神奈川大会

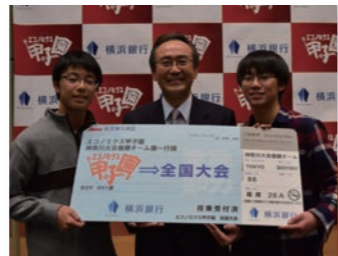
12月11日(日)開催

主催 **横浜銀行**

参加校一覧 逗子開成高等学校、藤沢翔陵高等学校、藤嶺学園藤沢高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立光陵高等学校、洗足学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校、桐光学園高等学校、栄光学園高等学校、慶應義塾高等学校、山手学院高等学校、公文国際学園高等部、サレジオ学院高等学校

申し込みチーム数 37チーム(16校)

運営スタッフ感想 第11回エコノミクス甲子園神奈川大会は、35チーム70名の高校生にご参加いただきました。今回は、アジア開発銀行(ADB)駐日代表による特別講義を盛り込んだことで、国際機関や海外で働く意義などを参加者に伝えることができ、キャリア教育の視点からも充実した大会になったと感じます。また、早押しクイズで出題したADB関連クイズへの解答の早さや正答率の高さからも、参加者が熱心に特別講義を聴いていた様子が見られました。参加者からは「またチャレンジしたい」「エコノミクス甲子園に参加したことをきっかけに金融に関する知識が増え、関心も高まった」「海外で働きたいと思っているので、講義を聴けて良かった」等、うれしい感想を多くいただきました。今後たくさんの高校生に楽しんで参加していただけるよう、一層大会を盛り上げていきたいと思っております。参加者の皆さま、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



優勝チーム
聖光学院高等学校
「石鯨研究会」



新潟大会

12月18日(日)開催

主催 **第四銀行**

参加校一覧 新潟県立直江津中等教育学校、新潟県立村上中等教育学校、新潟県立新潟高等学校、新潟県立新潟商業高等学校、新潟県立新潟中央高等学校、新潟県立佐渡高等学校、新潟明訓高等学校

申し込みチーム数 22チーム(7校)

運営スタッフ感想 第4回新潟大会では、22チーム44名の高校生にご参加いただきました。今回は、新潟県在住の芸人の方に司会を務めていただき、例年に増して、大変賑やかな大会となりました。決勝ラウンドは、最終問題まで結果が予測できない展開となり、ステージから目を離せませんでした。参加者からは、「またチャレンジしたい!」、「来年はもっと解答できるように、今からコツコツ勉強します」など、意欲あふれる感想を多くいただきました。これからも、新潟の未来を担う高校生の皆様が、金融経済について楽しく学べる大会の運営を目指してまいります。



優勝チーム
新潟県立新潟高等学校
「ましゅらお」



富山大会

12月11日(日)開催

主催 **北陸銀行**

参加校一覧 高岡龍谷高等学校、高岡向陵高等学校、片山学園高等学校、富山高等専門学校 射水キャンパス、富山県立魚津高等学校、富山県立高岡高等学校、富山県立高岡商業高等学校、富山県立滑川高等学校、富山県立水橋高等学校、富山県立富山高等学校、富山県立富山中部高等学校、富山県立富山いずみ高等学校、富山県立伏木高等学校

申し込みチーム数 39チーム(13校)

運営スタッフ感想 今回は32チーム63名にご参加いただき、前回より3チーム増となりました。当日の天気はあいにくの雪となりましたが、大会自体は非常に熱い戦いとなりました。参加者からも「楽しかった」等のコメントを頂き、スタッフ一同大変嬉しかったです。来年もより良い大会にできるよう取り組んで参りたいと思っております。



優勝チーム
富山県立富山高等学校校
「progress」





石川大会

12月11日(日)開催

主催 北國銀行

参加校一覧 金沢学院東高等学校、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校、石川県立金沢泉丘高等学校、石川県立金沢商業高等学校、石川県立金沢二水高等学校、石川県立輪島高等学校、石川県立小松商業高等学校、石川県立大聖寺実業高等学校、日本航空高等学校石川

申し込みチーム数 17チーム(9校)

運営スタッフ感想 今年は初参加校を含めた9校が参加し、多彩なメンバーでの大会となりました。

決勝ラウンドでは各チームの戦略的な動きに緊張感あり、笑いありで、最終問題が終わるまでデッドヒートが繰り広げられました。優勝は大逆転により昨年の優勝チームが見事に連覇を決め、会場は大いに盛り上がりました。

来年もたくさん的高校生に参加いただき、金融や経済の知識を得られる場を提供できればと思います。



優勝チーム
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
「神護景雲」



福井大会

12月18日(日)開催

主催 北陸銀行

参加校一覧 福井県立鯖江高等学校、福井県立高志高等学校、福井県立金津高等学校、福井県立藤島高等学校、福井県立若狭高等学校、福井県立羽水高等学校、福井県立福井商業高等学校、福井県立武生高等学校、福井県立大野高等学校、福井県立丸岡高等学校、敦賀気比高等学校、仁愛女子高等学校

申し込みチーム数 24チーム(12校)

運営スタッフ感想 今回は23チーム46名と昨年より参加者は少なくなりましたが、大会自体は非常に白熱した戦いとなりました。参加者の皆さんからも「楽しかった」等非常に好意的な感想をいただき、スタッフ一同大変うれしかったです。

来年はより多くの皆さんに参加頂けるよう取り組んで参りたいと思います。



優勝チーム
福井県立羽水高等学校
「トム」



山梨大会

12月18日(日)開催

主催 山梨中央銀行

参加校一覧 駿台甲府高等学校、山梨県立韮崎高等学校、山梨県立都留高等学校、山梨県立都留興譲館高等学校、山梨県立甲府第一高等学校、山梨県立甲府南高等学校、山梨県立山梨高等学校、山梨県立塩山高等学校、北杜市立甲陵高等学校

申し込みチーム数 30チーム(9校)

運営スタッフ感想 山梨大会は今回で6回目の開催となり、前回大会から8チーム増加の9校27チームに参加いただきました。

白熱した戦いが繰り広げられ、大接戦の末、予選第5位で決勝ラウンドに進出した甲陵高校の2年生チーム「甲陵ディベート」が全国大会への切符を手に入れました。甲陵高校は山梨大会初優勝となりました。

今大会は、1年生の参加者も多く、大変盛り上がりました。また、参加した生徒からは「会場の雰囲気も良く、楽しく大会に臨むことができた」「来年も参加して、リベンジしたい」などの感想もいただきました。

ご参加いただきました高校生の皆さま、開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆さまありがとうございました。皆さまのご協力で笑顔と充実感に満ちた素晴らしい大会になりました。今後も、高校生の皆さまが金融経済について興味を持っていただくきっかけ作りの場として、山梨大会を開催していきたいと思っております。



優勝チーム
北杜市立甲陵高等学校
「甲陵ディベート」



長野大会

12月4日(日)開催

主催 八十二銀行

参加校一覧 長野県諏訪二葉高等学校、長野県松本深志高等学校、長野県屋代高等学校、長野県下諏訪向陽高等学校、長野県上田高等学校、松本秀峰中等教育学校、文化学園長野高等学校、インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢

申し込みチーム数 23チーム(8校)

運営スタッフ感想 今年で4回目の長野大会となり、毎年チーム数が増えてきたことにうれしく思います。

また、高校生の事前準備や、大会に対する想いに、大変感心しました。来年も、今年以上の盛り上がりとなるように、当行一丸となり、取り組みたいと考えています。



優勝チーム
長野県松本深志高等学校
「大富豪」





岐阜大会

12月11日(日)開催

主催  十六銀行

参加校一覧 鶯谷高等学校、帝京大学可児高等学校、岐阜県立海津明誠高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、岐阜県立岐阜各務野高等学校、岐阜県立大垣東高等学校、岐阜市立岐阜商業高等学校、多治見西高等学校

申し込みチーム数 21チーム(8校)

運営スタッフ感想 今大会は、8校(前年比+1校)21チーム(同比+4チーム)となり、多くの高校生にご参加いただきました。正解した際のガッツポーズや決勝チームに残ったときの感想に「夢のような気分です」といった印象的な言葉がありました。非常に盛り上がりのある良い大会が開催できました。



優勝チーム
岐阜県立岐阜高等学校
「苺ヶーキ緊急集会」



静岡大会

12月11日(日)開催

主催  静岡銀行

参加校一覧 静岡雙葉高等学校、静岡県立藤枝北高等学校、静岡県立浜松北高等学校、静岡県立沼津商業高等学校、静岡県立掛川西高等学校、静岡市立清水桜が丘高等学校、静岡北高等学校、静岡サレジオ高等学校、知徳高等学校、浜松開誠館高等学校、常葉学園高等学校、常葉学園橋高等学校、富士市立高等学校

申し込みチーム数 18チーム(13校)

運営スタッフ感想 今回で6回目を迎えた静岡大会。初参加の7校を加えて、県内各地から13校・17チーム・34名の高校生が参加し、高校生同士はもちろん、スタッフとの活発な交流のもとに楽しい大会とすることができました。

決勝ラウンドでは、チーム同士のかけ引きもあって、最終まで勝敗がわからない白熱した戦いとなり、最終的に、予選ラウンド首位で突破した「I.H.S.」が優勝。彼らの株を購入するタイミングを見極めた戦略がうまくゲームに反映されたようです。

優勝チームの「知徳高校」は、平成25年度大会に続いて2度目の全国大会出場となり、メンバーの意気込みも十分でした。静岡県からの参加校として、過去最高順位となるよう活躍を期待しています。



優勝チーム
知徳高等学校
「I.H.S.」



愛知大会

12月11日(日)開催

主催  愛知銀行

参加校一覧 滝高等学校、海陽中等教育学校、愛知県立豊丘高等学校、愛知県立緑丘商業高等学校、愛知県立旭丘高等学校、名古屋高等学校、名古屋市立向陽高等学校

申し込みチーム数 30チーム(7校)

運営スタッフ感想 昨年より3チーム多い27チームが参加し、大いに盛り上がった大会となりました。参加者はエコノミクス甲子園の大会を通じて、楽しみながら金融リテラシーの向上を図ることができたと思います。

来年は今年以上に多くの学校に参加していただき、エコノミクス甲子園の良さを幅広く知っていただくとともに、金融リテラシーの向上に貢献していきたいと思っています。



優勝チーム
滝高等学校
「神様仏様利男様」



三重大大会

12月11日(日)開催

主催  百五銀行
FRONTIER BANKING

参加校一覧 鈴鹿工業高等専門学校、桜丘高等学校、三重県立松阪高等学校、三重県立川越高等学校、三重県立宇治山田商業高等学校、三重県立四日市商業高等学校、セントヨゼフ女子学園高等学校

申し込みチーム数 30チーム(7校)

運営スタッフ感想 三重大会も6回目となり、昨年に引き続き30チーム60名(参加校7校)の皆さんに参加いただきました。教育委員会や高校の先生方をはじめ、ご協力いただきました方々に感謝いたします。本年より、開催会場が変更となりましたが、これまでも増して大変活気のある大会となりました。また、年々参加される高校生の皆さんの金融知力の向上が見られることに、驚かされます。今後も更なる金融知力の向上のため、楽しい大会の運営に努めて参ります。



優勝チーム
三重県立四日市商業高等学校
「特になし」





滋賀大会

12月18日(日)開催

主催 関西アーバン銀行

参加校一覧 滋賀県立高島高等学校、滋賀県立長浜北高等学校、滋賀県立膳所高等学校、滋賀県立石山高等学校、滋賀県立河瀬高等学校、滋賀県立水口東高等学校、滋賀県立東大津高等学校、滋賀県立彦根翔陽高等学校、滋賀県立彦根東高等学校、滋賀県立守山高等学校、滋賀県立大津商業高等学校、滋賀県立八幡高等学校、滋賀県立八幡商業高等学校、幸福の科学学園関西高等学校

申し込みチーム数 25チーム(14校)

運営スタッフ感想 今回、滋賀県での地方大会開催は2回目となりますが、14校24チームの参加をいただきました。大学生ボランティアの協力もあって、生徒の皆さんの熱気が溢れる非常に盛り上がった大会となりました。金融・経済の単なる知識だけではなくそれをどのように活かしていくかが問われる「金融知力」について、興味を持っていただける良い機会になったと思います。

特に、予選ラウンドは非常に接戦となり、決勝ラウンドに進出した6チームのうち上位4チームの差はわずか6点でした。また、決勝ラウンドについては「株価変動クイズ」の醍醐味が十分発揮され、「株式」をどのタイミングで購入するかの判断が勝敗を分ける結果となり、最終的に高校1年生のチームが優勝しました。

次回も、多くの高校生の皆さんに参加いただき、滋賀大会を盛り上げていきたいと思っています。



優勝チーム
滋賀県立膳所高等学校
「TKG」



京都大会

11月20日(日)開催

主催 京都銀行

参加校一覧 洛星高等学校、洛南高等学校、東山高等学校、京都明徳高等学校、京都教育大学附属高等学校、京都府立洛北高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、京都市立西京高等学校

申し込みチーム数 16チーム(8校)

運営スタッフ感想 「京都大会」初開催でしたが、参加申し込みがあった16チーム、全員参加のもと無事に開催することができました。

開始直前まで、テキストで勉強する姿も見られ、高校生の大会にかける意気込みを感じました。大会は正答率の高いハイレベルな戦いとなりましたが、参加者の皆さまからは「楽しかった」「来年も参加したい」との嬉しい声を聞くことができました。

参加いただいた高校生の皆さま、開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。金融リテラシー向上の一翼を担えるよう、来年はより一層熱く盛り上がる大会にしたいと思っています。



優勝チーム
京都府立洛北高等学校
「せんとらるず」



大阪大会

11月23日(水・祝)開催

主催 近畿大阪銀行 リソナ銀行

参加校一覧 関西学院千里国際高等部、開明高等学校、清風南海高等学校、大阪星光学院高等学校、大阪教育大学附属高等学校 平野校舎、大阪教育大学附属高等学校 天王寺校舎、大阪府立天王寺高等学校

申し込みチーム数 17チーム(7校)

運営スタッフ感想 今回の大阪大会は17チーム34名の高校生たちに参加いただきました。参加チームの実力は拮抗し、予選ラウンドでは決勝進出の境目となる6位争いが1点差となる紙一重の勝負でした。決勝ラウンドでは、序盤に先行した大阪星光学院高等学校の「箱根山体操同好会」が中盤に逆転を許すも、ラスト4問連続正解という土壇場の爆発力を発揮して貯めた資金により、最後の最後で大逆転勝利を飾るハイレベルで劇的な展開に会場全体が引き込まれました。

表彰式終了後には、優勝した「箱根山体操同好会」を先頭に、大阪星光学院高等学校のみなさんが「箱根山体操」を披露。個性的な体操に会場全体が大盛り上がりとなりました。「箱根山体操同好会」のお二人には、大阪代表として全国制覇をしていただき、東京でも「箱根山体操」が披露されることを願っています。

最後に、運営にあたり、金融知力普及協会のみなさまをはじめとする関係各位のご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。



優勝チーム
大阪星光学院高等学校
「箱根山体操同好会」



兵庫大会

12月11日(日)開催

主催 池田泉州銀行

参加校一覧 雲雀丘学園高等学校、神戸龍谷高等学校、神戸学院高等学校部、甲南高等学校、灘高等学校、淳心学院高等学校、兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校

申し込みチーム数 14チーム(7校)

運営スタッフ感想 今回で2回目となる兵庫県大会は、13チーム26名が参加しました。出場チームの中には昨年からの連続出場メンバーも参加しており、《打倒・前回王者「灘高等学校」》を掲げた熱い戦いが繰り広げられました。

予選ラウンドでは、連続出場チームが前回の雪辱を果たすべく筆記・早押しともに好成績を残し、1位・2位通過となり、優勝に懸ける想いが伝わるドラマチックな展開もありました。最後には前回優勝メンバー率いる灘高等学校の「ビッグドーナ2。」が決勝ラウンドを全問正解でクリアし、見事に連続優勝を果たしました。

参加いただいた高校生や関係者の皆様のおかげで、非常に楽しい大会となりました。今後も、高校生に楽しく金融知識への興味を持ってもらえるよう、取組んでいきたいと思っています。



優勝チーム
灘高等学校
「ビッグドーナ2。」





奈良大会

12月18日(日)開催

主催 **NANTO 南都銀行**

参加校一覧 西大和学園高等学校、東大寺学園高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、帝塚山高等学校、奈良県立畝傍高等学校
申し込みチーム数 21チーム(5校)

運営スタッフ感想 今回は1組が欠席、5校20組40名での対戦となりました。決勝ラウンドへ進む6チームは、ほとんど実力も同じで、レベルの高い戦いが繰り広げられました。スタッフもハラハラする展開で、大いに盛り上がりました。ご参加いただきました高校生の皆さま、また、ご尽力いただきました関係各所の皆さま、ご協力ありがとうございました。



優勝チーム
東大寺学園高等学校
「オイコノミア1」



島根大会

12月18日(日)開催

主催 **山陰合同銀行**

参加校一覧 開星高等学校、石見智翠館高等学校、島根県立瀬摩高等学校、島根県立浜田商業高等学校、島根県立松江商業高等学校、島根県立松江南高等学校、島根県立情報科学高等学校、島根県立出雲高等学校、島根県立出雲商業高等学校
申し込みチーム数 23チーム(9校)

運営スタッフ感想 5回目となる島根大会には、開催史上最多となる23チーム46名が参加し、大いに盛り上がりました。予選ラウンドを1位通過した情報科学高校の「情報科学チームA」が決勝でも力を発揮。昨年2位でリベンジに燃える松江南高校の「テンシンハン」を最終問題で逆転し、見事優勝。最後の最後まで息を呑む展開に、大変盛り上がりしました。



優勝チーム
島根県立情報科学高等学校
「情報科学チームA」



鳥取大会

12月17日(土)開催

主催 **山陰合同銀行**

参加校一覧 鳥取県立鳥取西高等学校、鳥取県立鳥取商業高等学校、鳥取県立米子南高等学校、鳥取県立倉吉総合産業高等学校、鳥取城北高等学校、青翔開智高等学校
申し込みチーム数 15チーム(6校)

運営スタッフ感想 4回目となる鳥取大会には開催史上最多となる15チーム30名が参加しました。昨年決勝ラウンドの最終問題で惜しくも全国大会への出場を逃がした青翔開智高校と1年生チームの鳥取西高校が決勝ラウンドで激しい戦いを繰り広げ、最後の最後まで手に汗を握る接戦となりました。最後は、昨年のリベンジに燃える青翔開智高校「あらキングズ」が激戦を制し、見事全国大会への切符を手に入れました。



優勝チーム
青翔開智高等学校
「あらキングズ」



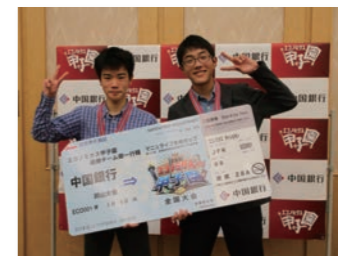
岡山大会

12月18日(日)開催

主催 **中国銀行**

参加校一覧 玉野市立玉野商業高等学校、清心女子高等学校、朝日塾中等教育学校、明誠学院高等学校、岡山県立総社高等学校、岡山県立笠岡商業高等学校、岡山県立岡山芳泉高等学校、岡山県立岡山東商業高等学校、岡山県立岡山操山高等学校、岡山県立岡山大安寺中等教育学校、岡山県立岡山南高等学校、岡山県立倉敷青陵高等学校、岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立倉敷中央高等学校、岡山白陵高等学校、岡山学芸館高等学校、山陽女子高等学校、創志学園高等学校、倉敷市立清思高等学校
申し込みチーム数 62チーム(19校)

運営スタッフ感想 今回も19校から61チームの参加があり、無事、盛況に終えることができました。決勝は、白熱した大接戦でした。学校関係者の皆さまに感謝するとともに、参加してくれた高校生のみなさん、どうもありがとう。次回の大会もたくさんの高校生がエントリーしてくれることを期待しています。



優勝チーム
岡山県立倉敷天城高等学校
「大関」





広島大会

11月13日(日)開催

主催  **もみじ銀行**

参加校一覧 広島県立総合技術高等学校、広島県立神辺旭高等学校、広島県立広島商業高等学校、広島県立尾道商業高等学校、広島県立安古市高等学校、広島県立呉商業高等学校、広島市立広島商業高等学校、広島学院高等学校、広島大学附属高等学校、広島大学附属福山高等学校、安田女子高等学校、呉青山高等学校、修道高等学校、ノートルダム清心高等学校

申し込みチーム数 31チーム(14校)

運営スタッフ感想 今回で5回目となる広島大会ですが、13校29チームの参加があり、高校生の中でエコ甲の知名度も上がっていると実感できました。早押しクイズでは、高校生、観客、そしてスタッフまでもがクイズや応援に熱くなり、会場は熱気に溢れていました。また、今年の決勝ラウンドは女性チームが半分を占め、今までにない華やかな決勝戦でした。

大会が終わり高校生たちからは「こんなに楽しい大会とは思わなかった!」「来年も絶対に参加します」と沢山の嬉しい声を聞くことができ、私たちスタッフも達成感に満ちています。



優勝チーム
広島大学附属福山高等学校
「ムラカミ」



徳島大会

12月17日(土)開催

主催  **阿波銀行**

参加校一覧 徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校、徳島県立徳島商業高等学校、徳島県立城東高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳島市立高等学校

申し込みチーム数 15チーム(6校)

運営スタッフ感想 最後の最後まで、優勝チームが予想できず、ハイレベルな戦いでした。
株式会社、残額も並び、予選順位の上位の「ポニヨ」が優勝を決めました。全国大会では共に戦ったチームの想いを胸に戦って欲しいと思います。



優勝チーム
徳島市立高等学校
「ポニヨ」



山口大会

11月20日(日)開催

主催  **山口銀行**

参加校一覧 野田学園高等学校、誠英高等学校、聖光高等学校、早稲高等学校、慶進高等学校、山口県立防府商工高等学校、山口県立西京高等学校、山口県立山口高等学校、山口県立下関西高等学校、宇部工業高等専門学校、下関市立下関商業高等学校

申し込みチーム数 21チーム(11校)

運営スタッフ感想 今回で5回目を迎える山口大会には、大会に懸ける意気込みでいっぱい21チームが集結しました。開会式でのチーム紹介では、「昨年のリベンジに来ました!」「この大会をきっかけに他校の友達を作りたい」「優勝して、東京に行きたい想いをチーム名にしました」など、大会への想いや個性あふれるチーム名の由来などを紹介し合い、会場の雰囲気も和やかになりました。

決勝ラウンドを勝ち抜き、見事優勝に輝いたのは、下関西高校の「のりちゃんず」。2人は、同じ高校から出場したもう1チームの2人と、他の参加者と一緒に大会を楽しみたいという思いから、柔道着をアレンジしたコスチュームで出場し、大会を大いに盛り上げてくれました。全国大会での活躍をスタッフ一同楽しみにしています!

参加者の皆さん、保護者・高校関係者の皆さま、山口大会にご協力いただき、誠にありがとうございました。



優勝チーム
山口県立下関西高等学校
「のりちゃんず」



香川大会

12月11日(日)開催

主催  **百十四銀行**

参加校一覧 高松第一高等学校、香川県立高松高等学校、香川県立高松西高等学校、香川県立高松桜井高等学校、香川県立香川中央高等学校、香川県立観音寺第一高等学校、香川県大手前高松高等学校

申し込みチーム数 22チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年は、6校20チーム40名の高校生が熱い戦いを繰り広げました。昨年のリベンジに燃える高校生も多く、大いに盛り上がりました。

決勝ラウンドは、それぞれのチームが株購入のタイミングについて壮絶な駆け引きを行う白熱した戦いとなり、決勝進出を逃した学生もスタッフも最後まで目が離せませんでした。

激闘を制し、悲願の優勝を果たしたのは、3年連続出場の高校3年生が率いる「高木兄妹」。優勝後のインタビューでは、参加されている1・2年生に向けて「将来必ず役に立つ知識だから、これからもがんばってください」というコメントをいただきました。参加された高校生からこのようなコメントが聞けて本当にうれしく思いました。是非、全国大会では優勝を目指してがんばっていただきたいです。

また、今後も高校生が「参加してよかった」「楽しかった」と思っていたような大会にしたいです。



優勝チーム
香川県立観音寺第一高等学校
「高木兄妹」





愛媛大会

11月20日(日)開催

主催 **伊予銀行**

参加校一覧 新田青雲中等教育学校、愛媛県立松山西中等教育学校、愛媛県立松山東高等学校、愛媛県立宇和島高等学校、愛媛県立大洲高等学校、愛媛県立土居高等学校、愛媛県立三崎高等学校、愛媛大学附属高等学校、愛光高等学校

申し込みチーム数 15チーム(9校)

運営スタッフ感想 今年も、ショッピングモールの「エミフルMASAKI」で開催された愛媛大会は、多くの観客の見守り中、高校生の熱い戦いが繰り広げられました。連続優勝をかけて臨んだ愛光高校、創立120周年記念の応援を受けて戦った宇和島東高校、2年連続メンバーで臨んだ大洲高校、初出場で学校の看板を背負って登場した新田青雲中等教育学校・三崎高校。今回の出場最多チーム数を誇り、決勝進出・優勝を目指す松山東高校、新しい歴史を作るべく新チームで臨んだ松山西中等教育学校。それぞれのチームの個性がキラリと光る参加高校生、観客、運営が一体となった大会となりました。愛光高校「NO経済NO生命」が見事2大会連続優勝・女の子チーム初優勝を勝ち取り、全国大会への切符を手に入れました。参加された高校生も、また応援して下さった方々も、金融や経済を学ぶ楽しさや必要性を感じていただけたのではないのでしょうか。

今回の開催にあたりご協力を賜りました教職員の方々をはじめとする関係者の皆さま、真剣にこの大会に挑戦してくれた26名の高校生の皆さま、大会を温かく見守って下さったご観覧の皆さまに心より御礼申し上げます。



優勝チーム
愛光高等学校
「NO経済NO生命」



高知大会

11月27日(日)開催

主催 **四国銀行**

参加校一覧 高知県立山田高等学校、高知市立高知商業高等学校、高知学芸高等学校、土佐塾高等学校

申し込みチーム数 9チーム(4校)

運営スタッフ感想 本年も少数精鋭のチームが予選から熱戦を繰り広げましたが、参加者の70%が女性ということで白熱した中でも華やかな大会になりました。

決勝ラウンドでは高知学芸高校「Cherry!」が見事な作戦で最後はぶっちぎりの優勝となりました。今年も高知ケーブルテレビが30分の番組として年末に放映して下さることになり、また翌日の地方紙にも大会の様子が掲載されました。今後も知名度を向上させ、さらにエコノミクス甲子園を盛り上げていきます。



優勝チーム
高知学芸高等学校
「Cherry!」



福岡大会

12月18日(日)開催

主催 **北九州銀行**

参加校一覧 西南学院高等学校、筑陽学園高等学校、福岡雙葉高等学校、福岡県立筑紫丘高等学校、福岡県立修猷館高等学校、福岡県立三池高等学校、福岡工業大学附属城東高等学校、有明工業高等専門学校、九州国際大学付属高等学校、久留米大学附設高等学校

申し込みチーム数 23チーム(10校)

運営スタッフ感想 北九州銀行として初めての開催となった福岡大会。スタッフの不安や心配は、集まってくれた23チーム46名の元気あふれる高校生たちが吹き飛ばしてくれました。

クリスマス前の開催ということもあり、サンタクロースやトナカイ姿の高校生も登場!元氣いっぱい女の子や、同級生同士、競い合う先輩と後輩や抜群の存在感を發揮した双子の兄弟など、個性豊かなチームの熱戦に大会は大いに盛り上がりました。

そんな中、息詰まる戦いを逆転で制したのは、福岡県立修猷館高校の2年生ベア「キリッと平行」チーム!昨年準優勝の悔しさを1年越して晴らし、見事東京行きを決めたドラマチックな展開に、この大会の醍醐味を体感できた気がしました。全国大会での活躍をスタッフ一同、祈念しています。

参加者の皆さん、ご協力いただきました高校の皆さま、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



優勝チーム
福岡県立修猷館高等学校
「キリッと平行」



佐賀大会

12月4日(日)開催

主催 **佐賀銀行**

参加校一覧 早稲田佐賀高等学校、弘学館高等学校、佐賀県立鳥栖商業高等学校、佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立白石高等学校、佐賀県立杵島商業高等学校、佐賀県立唐津商業高等学校、佐賀県立佐賀西高等学校、佐賀県立佐賀商業高等学校、佐賀学園高等学校

申し込みチーム数 25チーム(10校)

運営スタッフ感想 今回で2回目となる佐賀大会は、前回の17チームを上回る25チームの参加となりました。参加者のみならず、家族の方や先生方の応援もあり、大変盛り上がりしました。

MCは前回に引き続きとなりましたが、さらにパワーアップしたパフォーマンスで、会場の皆さんの笑いを誘っていました。

今回はさらに多くの方に楽しんでいただけるよう、また、多くのチームに参加していただけるよう趣向を凝らしていきます。



優勝チーム
佐賀県立致遠館高等学校
「経済探偵社」





長崎大会

12月4日(日)開催

主催 18bank 十八銀行

参加校一覧 青雲高等学校、長崎県立長崎西高等学校、長崎県立諫早商業高等学校、長崎県立松浦高等学校、長崎県立大崎高等学校、長崎県立佐世保北高等学校、長崎市立長崎商業高等学校、長崎女子商業高等学校、長崎南山高等学校

申し込みチーム数 21チーム(9校)

運営スタッフ感想 7回目の開催となる長崎大会は、「期末テストの勉強と並行して学習した」という、長崎西高校の1年生チームが優勝しました。筆記クイズから高得点の争いがみられましたが、決勝ラウンドでは最終問題まで全チームに優勝の可能性がある展開となり、結果的に9問目正解時の購入株数が勝負の分かれ目となるという、非常に白熱した戦いが繰り広げられました。参加した学生の皆さんは勿論、スタッフにとっても非常に楽しい大会となりました。



優勝チーム
長崎県立長崎西高等学校
「長崎西チームβ」



熊本大会

11月27日(日)開催

主催 認定NPO法人 金融知力普及協会
Association for the Promotion of Financial Literacy

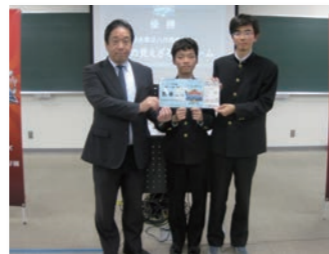
参加校一覧 熊本県立熊本高等学校、熊本県立八代高等学校、文徳高等学校

申し込みチーム数 12チーム(3校)

運営スタッフ感想 「復興支援大会」と銘打ち、熊本県内で開催された地方大会としては、第二回大会ぶりの開催となりました。開会までの間や休憩時間中にも、協会から事前に配布された教材を何度も復習している生徒の皆さんの様子を拝見し、主催者一同頼もしく思えました。

皆さんのレベルが高いこともあり、特に決勝ではデッドヒートが繰り広げられ、ご観覧の皆さんにもクイズの展開をお楽しみいただけたものと思います。

2017年もぜひ、地元の金融機関に主催いただき、熊本大会を継続できればと願っております。



優勝チーム
熊本県立八代高等学校
「カミの見えざる手」



大分大会

11月26日(土)開催

主催 認定NPO法人 金融知力普及協会
Association for the Promotion of Financial Literacy

参加校一覧 日本文理大学附属高等学校、大分県立杵築高等学校、大分県立安心院高等学校、大分県立大分商業高等学校、大分県立別府翔青高等学校

申し込みチーム数 13チーム(5校)

運営スタッフ感想 「復興支援大会」と銘打ち、大分県域の地方大会としては初の開催となりました。当日は、難しい問題に対し、懸命に頭を悩ませて解答しようとする生徒の皆さんの様子が非常に印象的でした。

最も多く参加していただいた県立大分商業高校の6チーム12名の皆さんをはじめとして、参加された生徒の皆さん、ご観覧の皆さん、ありがとうございました。

優勝された「花丸」チームには、全国大会では数少ない女性チームを代表して、頑張っていただけだと思います。

2017年もぜひ、地元の金融機関に主催いただき、大分大会を継続できればと願っております。



優勝チーム
大分県立安心院高等学校
「花丸」



宮崎大会

12月4日(日)開催

主催 認定NPO法人 金融知力普及協会
Association for the Promotion of Financial Literacy

参加校一覧 延岡学園高等学校、宮崎第一高等学校、宮崎県立小林高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、宮崎県立宮崎南高等学校

申し込みチーム数 17チーム(5校)

運営スタッフ感想 宮崎大会は5回目の開催となりました。今年は初出場の学生が多く、緊張感漂うなか筆記試験スタートとなりましたが、司会をお願いしている女子アナウンサーのトークで徐々に参加者の個性が引き出され、笑いと活気あふれる大会となりました。

参加者はよく勉強しており、毎年のことながら、運営側をはじめ観客席から感嘆の声があがる場面も多々ありました。参加者アンケートでは「去年も出場すればよかった」「来年も出たい」「投資に興味湧いた」との感想が寄せられ、高校生の良い思い出のお手伝いできたのではないかと感じています。

今後の課題としては、大会の知名度アップと参加者増加に向けて、参加者の口コミが学生間に広まるような仕組みや、メディア露出を高める必要があると考えています。



優勝チーム
宮崎第一高等学校
「一日三食三十品目」





鹿児島大会

12月18日(日)開催

主催 鹿児島銀行

参加校一覧 鹿児島県立鶴丸高等学校、鹿児島県立穎娃高等学校、鹿児島県立楠峰高等学校、鹿児島県立明桜館高等学校、霧島市立国分中央高等学校、志学館高等部、ラ・サール高等学校

申し込みチーム数 39チーム(7校)

運営スタッフ感想 決勝戦は全チーム拮抗し続け、最終問題で優勝チームが決する緊張感ある試合展開でした。



優勝チーム
鹿児島県立鶴丸高等学校
「poison」



沖縄大会

12月4日(日)開催

主催 沖縄銀行

参加校一覧 沖縄県立開邦高等学校、沖縄県立那覇国際高等学校、沖縄県立那覇商業高等学校、沖縄県立浦添高等学校、沖縄県立小禄高等学校、沖縄県立向陽高等学校、沖縄県立名護商工高等学校、沖縄県立与勝高等学校、沖縄尚学高等学校、昭和薬科大学附属高等学校

申し込みチーム数 40チーム(10校)

運営スタッフ感想 昨年の参加チームで、前回は早押しクイズのボタンを一度も押せなかったことが心残りでありベンジを果たすために参加したというチームが何チームもあり、それぞれが色々な想いをもって参加していることが見受けられました。

また、決勝戦では大逆転劇があり、大変盛り上がりました。正解数が多いチームが勝ちではなく、運も味方にしないと勝てない面白い決勝戦でした。

金融知力普及協会よりボランティアで来た方々が大会経験者として、優勝者へ全国大会の説明やアドバイスを熱心にされました。学生たちも心強いと思います。



優勝チーム
昭和薬科大学附属高等学校
「モコジロー」



インターネット大会

12月18日(日)開催

主催 住信SBIネット銀行

参加校一覧 駿台甲府高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、甲陽学院高等学校、海陽中等教育学校、文徳高等学校、岡山県立岡山東商業高等学校、山梨県立甲府南高等学校、山形県立山形東高等学校、安田女子高等学校、多治見西高等学校、南山高等学校、千葉県立銚子商業高等学校、北海道浦河高等学校

申し込みチーム数 24チーム(13校)

運営スタッフ感想 今回で5回目の開催となるインターネット大会では、「インターネットバンキングを利用した不正送金被害」や「デビットカード」、「マイナス金利」に関するオリジナル問題を出題いたしました。インターネットを通じての大会ですので、他の大会と違って非対面での開催となりますが、皆さんの高レベルな解答を見て、熱心に解答する皆さんの姿が目に見え、この大会をきっかけに金融経済に興味を持って理解を深めて頂ければ、大会実施者として大変嬉しく思います。残念ながら優勝できなかったチームの皆さまも、高校生のうちから金融経済について勉強する機会があったことはとても良いことだと思っております。来年度も是非、エコノミクス甲子園に挑戦してください。



優勝チーム
甲陽学院高等学校
「ResNovae」

住信SBIネット銀行特別賞
神奈川県立横須賀高等学校
「りくぶ」

安田女子高等学校
「チームNAKA」

中国大会

12月25日(日)開催

主催 金融知力普及協会

参加校一覧 上海市甘泉外国語中学、上海外国語大学附属外国語学校

申し込みチーム数 5チーム(2校)

運営スタッフ感想 今回エコノミクス甲子園史上初の海外チームの招聘を行いました。日本語で参加できることを条件に中国での募集を行いました。日本語検定のスコア、履歴書、作文を厳正に審査した結果、上海市甘泉外国語中学(日本では中高一貫校と同じ学年)の男女ペアが出場権を獲得しました。中国で生活する高校生にとって、制度の違う日本の経済・金融の問題にチャレンジすることはハードルが高く、事前学習教材で猛勉強して参加しました。



上海市甘泉外国語中学
「ソルティーフィッシュ」



エコノミカ大会

エコノミクス甲子園全国大会の行われる前日に、日本全国から会場に集まった高校生たちは「経済トレーディングカードゲーム エコノミカ」の大会に参加しました。

エコノミカとは、1対1で戦うカードゲームでありながら、投資の持つリスクとリターン、円安と円高などの関係性についても学べ、その場の判断力や決断力など実際の投資でも求められる勝負強さも身につく優れたものです。

上位入賞者には賞品も用意され、参加した高校生たちは優勝目指して戦いながら、親睦を深めました。



■ JALラウンド

『JALを利用したことのない人にJALを選ばせるビジネスマーケティングプラン』

本番初日、朝から見知らぬ高校生たちと共にプレゼンテーションを作り上げるラウンド。毎年恒例となったこのラウンドは、クイズでは測ることのできない高校生たちの想像力や表現力を測るものです。昨年に続き、今年のオフィシャルエアラインである日本航空株式会社様の御支援の下、「JALを利用したことのない人にJALを選ばせるビジネスマーケティングプラン」を課題に行われました。事前に開催された日本航空株式会社 今北恭平様のご講演を元に、高校生たちはグループでディスカッションをし、プレゼンテーションを作成しました。発表はパソコンを用いて行ってもらうため、アクシデントを起こすチームも多かったようです。そんな中、得点上位だった3グループはご来賓の審査の下、高校生やスタッフの前で再度発表を行ってもらいました。この3グループのプレゼンテーションは想像力、構成力、表現力、全てにおいて素晴らしく、高校生とは思えないほどのプレゼンテーションでした。最終的に、お茶大附属、星光学院、灘、羽水からなるグループがJALラウンド1位となり、幕を閉じました。



■ 前夜祭

参加高校生はプレゼンテーションラウンドを終了して間もなく前夜祭に参加しました。プレゼンテーションの健闘をお互いに称えあう姿や、来賓の方と楽しく交流する様子がとても印象的で、和やかな一幕となりました。前夜祭では、スポンサーや各銀行の方に提供していただいた各地の物産品が当選するビンゴ大会が行われ、大いに盛り上がりました。また、このビンゴ大会では、配布されたビンゴシートのマスに他の参加者の氏名を記入する必要がありました。高校生は名前を書いてもらうために出会ったばかりの同世代の参加者やご来賓の方に積極的に話しかけていました。



■ 筆記クイズ

去年まで1日目の最初に行われていた筆記クイズが今年は一日目の最後に行われました。高校生たちはプレゼンテーション、前夜祭などで疲れ切っている状況下で挑まなければなりません。全国大会の筆記クイズは地方大会のものとは異なり、4択クイズ以外にも記述、論述形式の問題や、図表を読み取る問題と様々で、また、個人で解答しなければならないので、応用力や、個人の力も問われます。難易度も高く、苦戦している高校生もみられましたが、制限時間の最後まで一生懸命問題を解いている様子でした。





2日目

■ 第1ラウンド 取引開始!オープニングベルクイズ

いよいよお客さんやネット中継の前で行われる第1ラウンド。4チーム同時に行う早押しクイズです。各グループ1問しかないため集中力が試されます。参加者の緊張もみられる中、問題の途中で押したり、多くのチームがほぼ同時に押すような問題を制したりして得点を稼ぎました。また、中国から来た上海甘泉が日本の労働基準法の問題を正解し、大きな歓声が上がりました。前日行われたプレゼンテーションラウンド、筆記クイズの結果を合計し、準々決勝に進む12チームが決定しました。



■ 第2ラウンド 一蓮托生!社内分業クイズ

プレゼンテーションラウンド、筆記クイズ、第1ラウンドまでの合計成績で勝ち抜いた12チームを除いた36チームを18チームずつの2組に分け、準々決勝への残りの枠をかけて争う第2ラウンド。勝ち残るのはわずかに1組から4チームずつ。前後半に分かれた問題文の正誤をチームのそれぞれが解答する○×クイズです。チーム内での相談は一切できず、また2人とも正解しなければ不正解となり、即敗退となってしまいます。パートナーのためにも絶対に間違えられないこの形式。どちらの組も1問目から半数以上が敗退となってしまいます。勝ち抜いたチームからは緊張感から解放されたような安堵の表情が見られました。1組目では、全6問が終了し、弘前が予選順位の高さで宇都宮を下し、弘前、観音寺第一、膳所、新潟の4チームが準々決勝へ、2組目では、わずか3問目で決着がつき、倉敷天城、甲陵、致遠館、情報科学が準々決勝へとコマを進めました。



■ 第3ラウンド 社長、ご決断を!リスクテイククイズ!

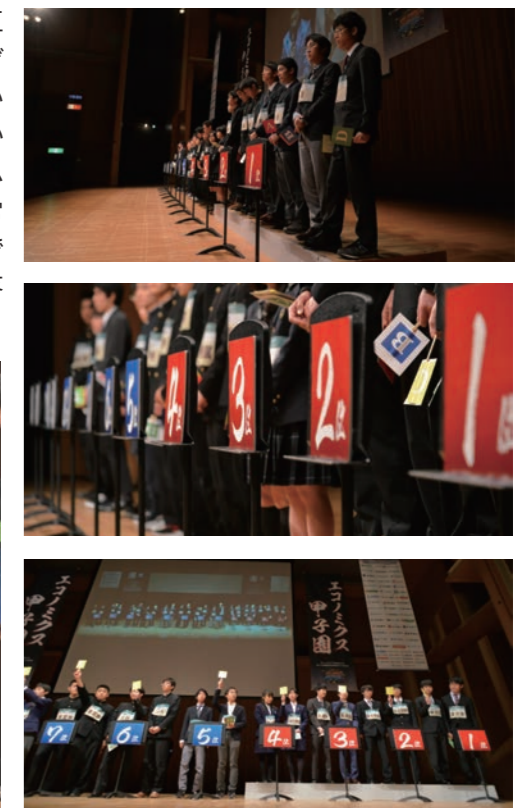
第3ラウンドは準々決勝進出を決めていない28チームから最大4チームの準々決勝進出チームを決めるリスクテイククイズ。ここで勝ち抜けられないと敗退が確定してしまいます。また、予選10位台のチームも多く残っており、勝ち抜けるのは容易ではありません。問題文の冒頭を聞いて解答するかを決め、全文を聞いてから解答し、3問正解で勝ち抜け、誤答は即失格というシビアなルールに背水の陣の高校生たちが挑みました。

高校生たちは予想以上に積極的で、1問目から半数以上のチームが解答するも、その半数以上のチームが誤答するという波乱の幕開け。このこともあってか、2問目は3チームしか解答しなかったものの全チーム正解。3問目終了時点には5チームがリーチになりました。そして4問目、リーチの状態でも正解したのは、福島、秋田、滝、長崎西の4チーム。この4チームが準々決勝への最後の切符を掴み取りました。



■ 準々決勝ラウンド 駆け上がれ!出世街道クイズ

第1ラウンドから第3ラウンドで勝ち抜いた24チームを2つに分けて行う4択クイズ。正解すると自分たちより上座にいる不正解チームを飛び越えて上座へ移動します。それぞれのグループの上位4チームが次のラウンドへと進めます。チームの前には順位を書いた札が立っており、勝ち抜けチームは壇上へ上がるので順位の変動が見やすくなりました。1問目は全員正解。しかしその後はまばらに不正解者が現れ、上座にいるチームが並んで間違えると一気に順位が上がり、先の読めない展開が繰り返されました。常にチームの順位が大きく変動し、見ている側も気が抜けないゲームでした。最後の1問で予選通過を獲得したチームもあれば逆に最後に間違え、2位や3位から予選落ちへ転落し、涙したチームもありました。



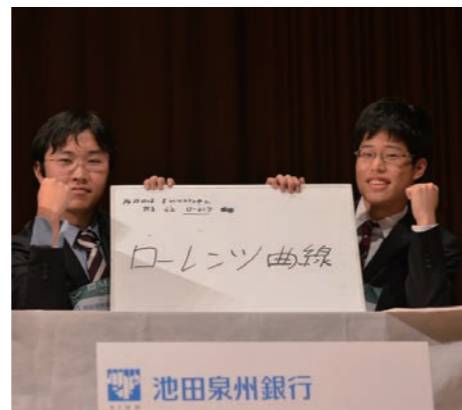


■ 準決勝ラウンド 分散投資!エコノミカクイズ!

予想外の展開を見せた準々決勝ラウンドを終え、準決勝へと進んだのは、灘、聖光学院、羽水、札幌南、金大附属、お茶大附属、福島、新潟の8チーム16人。

準決勝ラウンドは、経済トレーディングカードゲーム「エコミカ」をモチーフにしたボードクイズです。各チームは「預金」「日本株」「ドル」「ゴールド」の4種類のアセットから重複を許して5枚を選択、それぞれ価値が「2」の状態からスタートし、そのうち3枚の価値を「5」にすれば勝ち抜けることができます。それぞれの価値は、各チームが順番に選択するイベントカードによって変動し、問題に正解したチームはプラスの効果、不正解のチームはマイナスの効果適用されます。イベントカードは名前のみ公開されており、選択すると初めてその効果が発表されます。一見するとルールが複雑なように見えますが、大会前日に行われたエコノミカ大会に参加している高校生は、すぐに理解できたようでした。

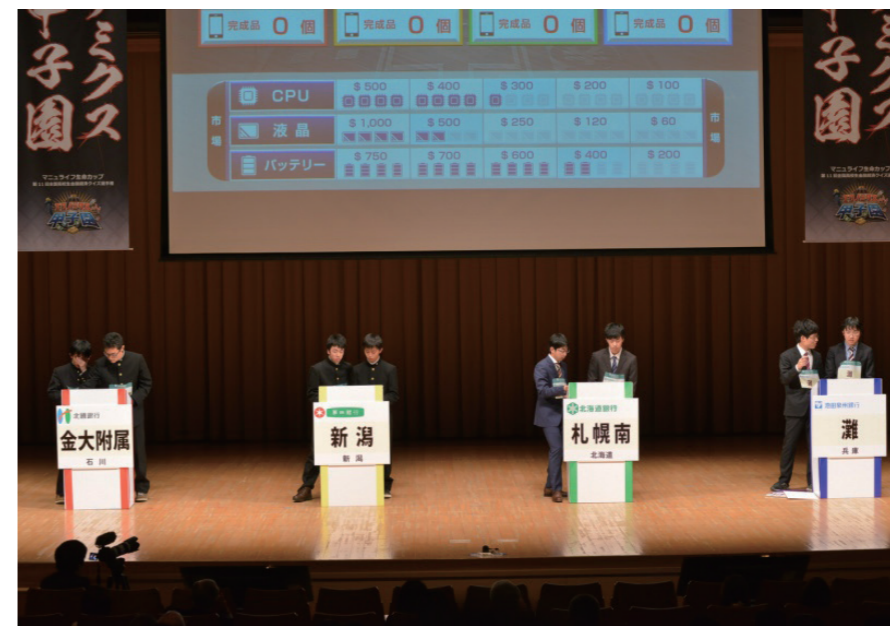
このラウンドではクイズに正解できないとマイナスの効果適用されてしまうので、連続して正解しなければなかなか前に進むことができず、最後まで結果のわからない一進一退の攻防戦が続き、会場は盛り上がりを見せました。知識だけでなく戦略も問われた準決勝を勝ち抜き決勝へと進んだのは、灘、札幌南、新潟、金大附属の4チーム8人でした。



■ 決勝ラウンド 世界を引っ張れ!マーケットリーダークイズ!

準決勝で勝ち残った4チーム、灘、札幌南、新潟、金大附属が、ニューヨークへの切符をかけていよいよ決勝ラウンドに臨みます。果たしてどのチームが優勝をつかみとるのでしょか。

決勝ラウンドは、問題に正解して資金を獲得し、在庫数に応じて価格が変動する市場から3種類の部品を買い集めてどれだけ多くのスマートフォンを作れるかを競うラウンドです。強制交換や市場封鎖など、特殊なルールもあり、複雑なルールにはじめは選手も観客席も戸惑ったようでしたが、実際にラウンドが進むうちにだんだん理解してもらえたようで、各チームの戦略に対して観客席も盛り上がりを見せていました。流れが変わったのは、そろそろ終盤に差し掛かろうかという第8問。灘と札幌南がそろって市場封鎖を行うなか、金大附属が単独で強制交換を発動、スマートフォンを4つ作って灘と札幌南に追いつきました。ここから形勢は金大附属に傾き、第11問で再び強制交換をうまく使った金大附属がトップに躍り出ました。そして迎えた最終第12問。なんと正解はラウンド名そのまま「マーケットリーダー」でしたが、正解チームなし。どのチームも意表を突かれたようで、悔しそうな表情を浮かべていました。この結果、最終問題直前の状態で決まり、優勝は金大附属、準優勝は札幌南、3位は灘、4位は新潟となり、第11回エコノミクス甲子園全国大会は幕を閉じました。





金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属高等学校
直江 綾太郎

4月1日。3月いっぱい学校の補修があったので新学期ギリギリの日程でニューヨークへ向かうことになりました。この日程のせいで大学生のお二人には多大な迷惑をおかけしたと思います。成田空港で鈴木さん、大学生の二人と合流し、無事出国審査も抜けることができました。この後、出発までJALのラウンジへ行かせていただきました。普段はなかなか入ることがない所だったのでずっと落ち着きがなかったと思います。

18時半、ニューヨークへと飛行機が離陸しようとしたその時トラブル発生。自分たちの2つ後ろの席に座っていた子どもが大声を上げはじめ飛行機内は騒然。

「お客様の中にお医者さまはおられませんか」というドラマのような事態になりました。こうしたタバタがあったので出発が2時間程度遅れてしまいました。2回目の離陸は無事成功して、飛行機内でもトラブルはなくニューヨークのJFK国際空港に着きました。ここでも入国審査が異常に長く、結局ホテルに着いた時刻は予定よりも5時間程度遅れていました。その日はマックを食べて早々に床に就きました。

2日目、この日は観光だけでした。朝ご飯を食べて、地下鉄に乗ってアメリカ自然史博物館に向かいました。巨大な博物館で展示内容も生物、民族系、宇宙など多岐にわたっていました。僕は広く浅く見たのですが、何かジャンルをしばってじっくり見たほうがよかったかもしれません。説明文が基本英語なので細かい部分はよくわかりませんが、ティラノサウルスの化石とかはやっぱり見るだけ

で興奮しました。次にセントラルパークを横切ってメトロポリタン美術館に向かいました。巨大だと思った自然史博物館よりもまだ大きかったです。世界中の美術品が収集されていて、見て回るだけで疲れました。僕は美術的教養が全くなかったので十分に楽しめたとはいえないですが行っただけの価値があったと思います。その後本屋に立ち寄り、夜ご飯のシュラスコを食べて次の日に備えました。

3日目、ボストンに飛行機で行くために朝6時半にホテルを出ました。ラガーディア空港へ向かう方の道路はスイスイいけましたが、反対側は恐ろしく混雑していました。空港に着き朝ご飯を食べ、飛行機に1時間程乗ってボストンに着きました。ニューヨークとはまた異なった雰囲気の街で、のんびりした空気だったので住んでみたいと思いました。伺ったJohn Hancock社はまず設備が斬新で

Bloombergは総合的な経済メディアでテレビやラジオの放送を行ったりキーボードも作ったりしているそうです。食べ物やジュースが置いてあるスペースだけでも4つあるそうで、そのような場からより独創性に富んだアイデアが生まれるそうです。実際にその様子を見ていると、みんなジュース片手に談笑しています。このような柔軟な働き方が企業を発展させていくのだろうと推測できました。

次にCitiへ行き、川村さんと王さんの話を伺いました。証券会社の中にも様々な役割の人がいて、企業を分析する人の中にはその会社の製品を分解までもして詳しく調べるといえるには驚きしかなかったです。自分たちは比べ物にならないくらい情報収集能力があり、安易に株などには手を出さないようにしたいと思いました。Citiのオフィスはフロアいっぱいにデスクとパソコンが広がっていて圧巻でした。王さんには昼食時にもお話を

をしていただき、感謝しています。

その後Museum of American Financeに寄った後、領事館の園田さんと合流し、NYSE=ニューヨーク証券取引所へ行きました。結構テレビでも見る場所なので興奮していたと思います。NYSEは全体の22～23%の会社が外国の企業であり、本当の意味でもグローバルマーケットである。取引所は投資家と会社をつなぐもので私企業でも社会に貢献する場を提供する役割があるなどの話を聞きました。本当にわかりやすい英語で話していただいたのでありがたかったです。そしてもっと取引所の中に入りました。人があわただしく動き回り、目の前ではテレビ中継をしています。4時の取引終了とともに会場全体で拍手が鳴り響いたときは感動しました。こんなに幸せなことはなかなかないことだと思います。世界中の企業が上場しているといえ日本の企業はわずか10社ほどだそう

です。まだまだ頑張らなければいけないとなぜか僕が思いました。

一度ホテルに戻った後、ブロードウェイへブルーマンのショーを見に行きました。他のショーは英語がほとんどらしく、日本人にとっては難しすぎるようなので、英語があまりないというこれを選びましたが大当たりでした。本当のエンターテインメントとはどのようなものかわかった気がします。来年以降行く人もぜひ行くべきです。この後ご飯にエビを山ほど食べて眠りました。

5日目。半径が30cmくらいあるピザを食べてからRussellへ行きました。正直今回の研修旅行の中で一番英語がキツかったです。英語が聞き取れない+専門的な内容だったので予備知識が不十分だったかなと思います。あとからわかったことも付け加えると、企業の年金や大学の基金も運用しているそうです。自分で理解できなかったことが悔し



た。周りがすべてガラス張りでの階からはボストン湾を一望できました。また1人1人に与えられたスペースが非常に広く、ほぼ個室みたいだったり、専用のジムがあり、好きな時間に使うことができたりと、集団にとらわれず、自分のスタイルで仕事ができそうでした。話を伺ったところ、John Hancock社はアメリカだけでなくアジアやヨーロッパにも事業を拡大しており、エコノミクス甲子園以外にも、ボストンマラソンのスポンサーや教育プログラムの実施など多くのCSR活動を行っているそうです。社会に貢献するという点から見るとこの会社は多大な利益を与えていると思いました。日本人でもあり、この会社で働いている天野さんにもお話を聞きました。天野さん自身はアメリカに来るまでは日本で働いており、残業が多かったそうですが、こっちに来たからは残業をほとんどしなくなったそうです。

最近日本ではブラック企業についていろいろ言われているので、アメリカの働き方について興味をもっていたのですが、天野さんの話などを通して、やはり実力を重視するなど少しずつ変えていく必要があるのかなと思いました。僕は一部の会社の働き方しか知らないのですが大きなことは言えませんが、アメリカで働いた方が仕事もプライベートも充実すると感じました。

サングラスとノートをいただき、ニューヨークに戻るためにすぐに空港に行きました。ボストン観光があまりできなかったのが残念です。ただ、空港で食べたクラムチャウダーは味が濃厚で本当においしかったです。あそこまでおいしいものはなかなかないと思います。ホテルに帰ると本当に疲れていたのもそのままだに倒れこみました。

4日目、朝からハンバーガーを食べました。

アメリカ滞在中に計3回食べましたが、このハンバーガーが一番おいしかったです。その後ニューヨークの街中を歩いているとゴミ箱がいたるところにあるのに気が付きました。日本では街中にはほとんどゴミ箱がないので不便だという意見が多いがテロなどの危険性を考慮して置かないという話を聞いたことがあります。(ニューヨークの方がよっぽどテロが起きるようなのに) 日本の方が、ゴミ箱が少ないのは疑問を持ちました。ゴミ箱がないとゴミ捨てが増えてしまい、日本の良さである清潔さが失われてしまうので日本でも絶対設置した方がいいと思いました。

まずBloomberg社を訪れました。ここだけではありませんが受付でパスポートを見せて、写真を撮って証明書をもらわなければならず、警備員もたくさんいて、改めてすごい所に入ることができるという実感が湧きました。

だったので、英語能力と金融だけでなく、アメリカのバックグラウンドもしっかりと勉強していくべきだと思います。ニューヨーク公立図書館に寄り、昼食を摂った後、日本国総領事館へ行き、園田さんにトランプが大統領になった背景などを詳しく説明していただきました。日本からお客様気分でもトランプ現象を見ていた自分ですけど、お話をきいて日本は大丈夫だろうかと不安になりました。政治の停滞感とか重なる部分があるかと思えます。そして園田さんは「日本人が世界で一番英語が下手だ」とおっしゃっていました。世界の第一線で活躍するには英語が最低限のスキルであり、その面では日本人は明らかに劣っています。それはもう個人が英語を頑張るしかないとおっしゃっていました。何となく英語を避けてきた僕には耳が痛い話です。これから本気で英語に取り組もうとここでひそか

に決心しました。

最後に伺ったのはTiger Asia Managementの武神さんと金さんです。オフィスからの景色は最高で、ニューヨークが一望できました。ニューヨークにいるからこそわかることがたくさんあり、便利でないとこにニーズがあるということも教えてくださり、それを実践する姿はカッコいいの一言です。そのような話を聞いていると自分もアメリカで勉強したいと思うようになりました。ハーバードのMBAをとるには発言をするというのが大きなウエイトを占めているそうです。自分はあまりそういうものに積極的ではなかったのですがそれを変えていきたい、そしてアメリカの中で世界中の人を相手にしてみたい、そういう気持ちが湧いてきました。正直今は全然そんなレベルではないですけど、少しずつ、少しずつ変えていきたいです。

夜ご飯は武神さんにステーキをごちそうしてもらいました。定期で測りたくなるほど分厚かったです。武神さんは経済のことだけでなく、男についてもいろいろおもしろい話をしてくれました。

6日目、あとは帰るだけです。本当にあっという間の一週間でした。今までの人生で刺激的な期間だったと思います。やっぱり英語は大切だということがわかったし、自らに足りないことがたくさんありました。これからの人生でもっと成長していきたいです。エコノミクス甲子園に関わってくれた人たちに感謝申し上げます。ありがとうございました。





金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属高等学校
小菊 聡一郎

ボストンに行った。
向かった先はジョン・ハンコック。エコノミクス甲子園のスポンサー、「マニュライフ生命」と同じグループの会社だ。ハンコックはアメリカ国内で4千人もの社員を抱える大企業で、保険や投資の設計・募集を行っている。まず気づいたのは、日本と比べて一人一人に与えられているデスクが広く、あまりスペースを気にせず作業ができるようになってきていることだ。また、実際に働いている方にお話を伺ったところ、全員ではないにせよ多くの社員が9時から17時まで働くのだそう。日本でもグローバル化の潮流の中で従来の年功序列型賃金が崩壊しつつある一方でなぜか労働時間はあまりグローバルスタンダードに近づい

ていけないのは実に解せぬものだ。
それはともかく、ボストンは良いところだった。ハンコックのビルも、街並みも、そして海も、穏やかでとてもお洒落だった。日本人はあまり多くないらしいが、とても日本人向けの町だと思う。ボストンの話はこのくらいにして、この旅行は「NY研修旅行」、NYについてである。
初日のフライトは急病人を出したり入国審査に2時間半かかったりして予定より大幅に遅れ、ホテルに到着したのはmidnight、タイムズスクエアの喧騒をよそに吸い込まれるがごとくに眠った。翌日はアクティビティとして自然史博物館とメトロポリタン美術館を回った。自然史では生物を中心に見て回る相方とは対照的に、動物がともかく苦手な自分は文化や歴史の展示を見た。世界史を勉強すると展示を見るのが楽しくなるものだ。メトロポリタンではギリシア・ローマ美術やヨーロッパ絵画を中心に見た。美術に関してはあまり勉強してこなかったが、それでも世界史の資料集に乗っ

ている作品を実際に見たり、美しいモネの絵を見たりした時は感動した。今度来るときはもっと美術について学んで味わえるようになりたい。
3日目のボストンに引き続き4、5日目も企業を見学した。まずブルームバーグ、金融情報・金融業向け端末の大手だ。この会社で特徴的だったと感じたところは2つあり、一つは建物が馬蹄型になっていて端から他方の端がみられるようになっていて、あるいは会議室のガラスに加工がしてあって正面から見ると透明に見えるが角度をつけると不透明に見えるなど、透明性とプライバシーを上手に両立する空間づくりになっているところだ。もう一つは、食べ物や飲み物を自由にとって談笑できるスペースがあったことだ。他の部門の人とも交流する機会を持つことで柔軟なアイデアが生まれることを期待して設けられたものだと思う。日本でも一部のIT企業が取り入れているようだが製造業などにも広く普及したい



のほうで英語ができなかったのは内容が難解で知らない単語が次々に出てきたため、マクドナルドで通じなかったのは騒音の中で早く喋られたためだ。課題は見えた。練習して英語を十分に使いこなせるようになりたい。
さて、話を戻すと、その後NY日本国総領事館で財務省からNYに派遣された園田さんについてお話をした。まずはトランプ大統領についてのお話。以下その話を聞いて自分が考えたことである。
今回の大統領選挙は非常に不人気候補同士との対決で直前まで支持も拮抗しており、どちらがなってもおかしくない展開で興味深く見守っていた。結局トランプが制した。終盤に自分の聞いた米国の情報の限りでは優勢はトランプにありそうだったので「やっぱりそうか…」という感じだった。これまでの大統領と一線を画する候補だっただけに本当に就任すると予想していなかった人もいるかもしれない。そうだとしたらその人はこれまでの漠然と

した常識に無意識のうちに囚われていたのかもしれない。確かにトランプはあの暴言で、世間に大統領として適さないというイメージを持たれているし、ポリティカルコレクトネスの観点からいっても好ましくないのは確かだ（自分は大統領になるのにポリティカルコレクトネスが何より大事だとは思わないが）。しかし今のアメリカの社会が彼のような候補を必要としていたということが園田さんの話を聞いて実感できた。年々進む格差の拡大、製造業の衰退、白人中心社会の崩壊、オバマ政権で世界のリーダーの座を守るために“change”できなかったこと、それらに対する不満が、社会を少なくとも2つに分断した。だからこそ、ヒラリーのような既存政治側の候補以外に、彼女らと対立する非既存路線側の候補がトランプであれ、サンダースであれ、誰かしら必要だったのだ。もちろん彼らの支持者の中には本当は好きじゃない人も大勢いたはずだ。それでもヒラリーなら何も変わらないという失望の裏返し

として彼らに期待を込めて支持したのだ。実際トランプが大統領候補になった。こういう背景があるのであればメディアはそのような社会の構図にも注目すべきである。しかるにメディアはトランプの資質を執拗に問題視し、問題の本質を巧みにすり替えた、既得権益を持つメディアの都合によって。だがトランプは負けなかった。テレビや新聞を味方につけられない分TwitterなどのSNSを駆使して反既存政治の人の支持を取り付けた。そして大統領になってのけた。もちろん自分はトランプの政治にあまり期待していない。たぶんうまくいかないと思う。それでも自分はヒラリーよりもトランプが大統領でよかったと思っている。アメリカ社会の現状が浮き彫りになったのだから。トランプの大統領就任は決して偶然ではなく、蓋然であった。
園田さんには、その他にも米国と日本の経済や意識の違い、米国の金融の現状、米国で働くということについてお話を伺った。どの



いと思う。次に訪れたのはシティ、世界160か国におよそ2億の顧客口座を有する世界有数のグローバル銀行で、通常の銀行業務に加え綿密な企業・市場調査をベースにした投資家への投資アドバイスを行っている。各企業と月に一度接触する機会を持ち、情報を仕入れたら、あるいは、例えば新しいスマートフォンが発売されると投資家の目の前で実際に分解して使われている部品を調べたりするなど企業情報を徹底的に調べ上げることで投資家に有利な情報を提供している。自分でどのような方法をとって調べるか考えて実際に良い運用成果が出た時の喜びというのは計り知れないと思う。さて、そのあと訪れたのはNY証券取引所の近くにある貨幣の博物館だ。エコノミクス甲子園で勉強するような「楽しい」事項が説明してあった。そう、そこで買ったブル・ベアパペットがとてもかわいい。リバーシブルになっており、インテリアとしてオススメだ。

強いて言うならばアートのほうがかわいい(うしさんごめんさい)。さて、いよいよNY証券取引所、昨年のは場場の寄付きの時に訪れたのだが、今年は午後4時の大引けだった。株価掲示板がたくさんある部屋(テレビでよく映るところ)に通された。株式や債券などの有価証券以外にも先物などのオプション取引も行っているそう。3時59分30秒になると皆で一斉に拍手をはじめ、同50秒、大引けを告げるクロージングベルが轟く。その時の興奮といったらない。
興奮冷めやらぬまま向かうはオフ・ブロードウェイのミュージカル、ブルーマン。先代のNY研修旅行の話も踏まえて、今回は英語があまりできなくても楽しめるパフォーマンス型ミュージカルにした。蛍光塗料をふんだんに使ったドラムパフォーマンスや陣内智則が得意としたような映像ネタ、観客が一体化するペーパーなど、非常に楽しかった。エコノミクス甲子園

にこれから参加しようと思っているみなさんぜひNYについて、見てください! 絶対後悔はしません!
5日目、ラッセル・インベストメントさんにお邪魔した。投資家などに対して、大きなリターンを得るアクティブ運用のプランを提案している。その時はじめて知ったことだが、現在先進国がこぞ行う量的緩和と政策は市場の資金をだぶつかせ、金利を押し下げて株式投資の利回りを下落させてしまう。現在の株式投資はパッシブ運用を行うと利回り1パーセント程度になる。だからリスクは大きくなって利回り5%程度が期待できるアクティブ運用を望むクライアントも多数いるのだ。(ただしアクティブ運用は売買手数料が余分なコストになってリターンが悪くなるためパッシブ運用が近年は評価されつつある)
今回の研修で英語に苦労したのはこのラッセルへの訪問とマクドナルドだった。ラッセル

お話もとても参考になるものばかりだった。
企業視察も大詰めとなり、最後に向かった先はタイガー・パシフィック・ファンド。ラッセルと同じくアクティブ運用のファンドだ。お話を聞いて特殊だと思ったのは、タイガーは内需関連株を中心に投資をされている、ということ。内需株の遷移を読むのは日本人に強いが、一方で外需の動きを読むのは困難であり、お話を伺った武神さんによると内需関連株中心にしているのは内需なら海外資本よりも有利な立場に立てると考えてのことだそう。お話は日本人の海外留学に移った。日本経済の強さがあって海外留学を妨げている、とのことだ。もちろん海外留学をすることが誰にとっても好ましいかと言われるとそれは人によってこの言葉をどうとるかというのは人によって違ってくるだろうが、全体としては海外留学するのに向いている人の機会損失になってしまうことを考えるとネガティブにとるべきだろう。と

もかく、国内経済の不安定さは外向きになるチャンスであるということだ。多くの東アジア・東南アジアの国々は日本より外需に頼る足腰の弱い経済であるから、家庭が豊かで優秀な学生はこぞ海外留学を目指す、日本の強い経済は優秀な人材を東京・大阪・名古屋などの大都市圏に集めるに留まり、国外への意識を弱くさせるのだ。経済が発展して留学できる学生が増える一方でかえって学生があまり留学しようと思わなくなるというのは実に皮肉なことだ。
このような話をした後、武神さんにご馳走になり、タイガーの金さんとステーキをいただいた。金さんも昔日本に住んでいらしたということでも流ちょうな日本語を話されるので最初日本人の方だと勘違いしていたほどで、全員で金融・経済に限らず様々な話をした。驚きのたくさんある時間だった。
6日目・7日目は帰りのフライト。楽しかった思

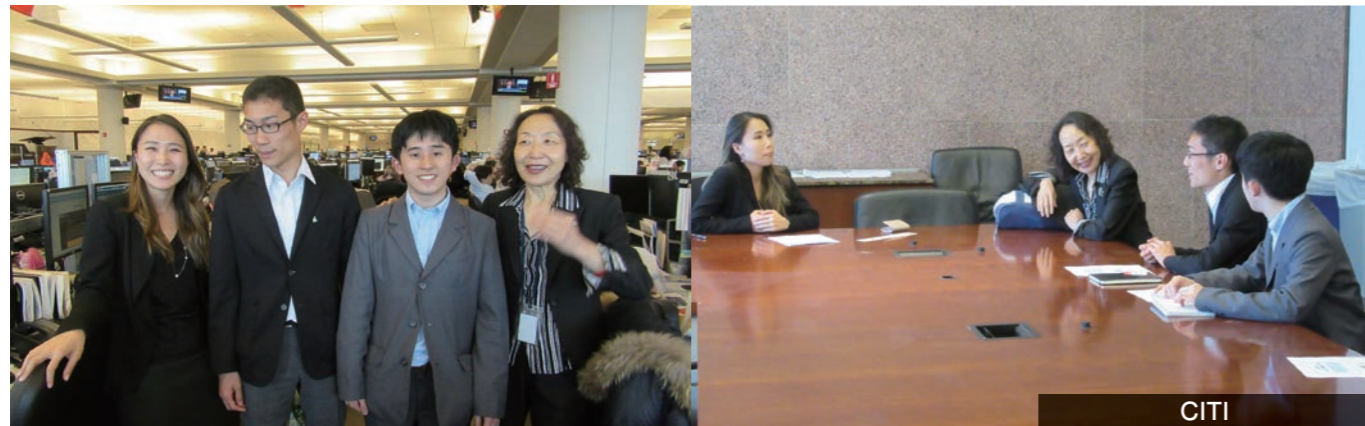
い出を振り返りながら家に帰った。帰りのフライトもまた遅れが出て、家に着いたのは夜遅くだった。
本当に一週間しか経っていないのかと疑いたくなるほど常に新しい刺激を受け、忙しいスケジュールをこなして目いっぱい楽しんだ今回の研修旅行。
こんなすばらしい旅行を計画し、自分たちの引率を引き受けてくださった金融知力普及協会の鈴木さん、水谷さん、大学生スタッフの縄田さん、岡本さん。そして見学を受け入れてくださった各企業の皆様、本当にありがとうございました。この経験はどんな形であれ必ず生かします。



John Hancock



Bloomberg



CITI



NY Stock Exchange



Russell Investments



Tiger Pacific Capital



日本領事館